

公益財団法人 横浜市観光協会
令和 6 年度事業計画

目次

■ ミッションステートメント

■ タグラインの新設

■ 組織名の改称

■ 推進チームの発足

■ 令和6年度重点取組

■ 令和6年度基本事業

■ ミッションステートメント～私たちが目指すこと～

私たちは人々に
港まちヨコハマらしい
感動体験を提供し
まちのブランド力を高め
自らも成長することを
目指します

さらなる横浜の発展を目指して、訪れる人々と地域に住む人々が 新たな発見と出会いに感動する「上質」で「洗練」されたブランディングによる「観光まちづくり」を推進していきます。

■ タグラインの新設

Bay. Your Side 

■ 組織名の改称

公益財団法人 **横浜市観光協会**

英語名: Yokohama City Visitors Bureau

■ 推進チームの発足

チーム名

Yokohama Discovery Group

- マーケティングに基づく戦略テーマとターゲット・重点エリアの設定
- 観光まちづくりに向けたステークホルダーとの連携
- ブランディングに基づいた戦略プロジェクトの推進

令和6年度 重点取組

重点取組①【観光 MICE 都市横浜のブランディング】

横浜が持つ、街の美しさや豊かな滞在環境など地域の様々な魅力を発信し、観光 MICE 都市としての認知の向上や来訪を促すブランディングに取り組みます。新たなブランドメッセージを確立し、情報発信やイベントとの連携等、様々な機会を通じて統一感を演出することで、横浜の観光 MICE をさらに盛り上げます。

●財団名の改称とタグラインの新設

DMO の活動を分かりやすく伝える組織名称に改め、訪れる人や住む人が共感できるタグラインを新設することで、地域が一体となった観光 MICE 振興に取り組みます。

●オフィスリニューアルによる共創の推進

財団のオフィスを賛助会員などの事業者と財団職員がコミュニケーションを図れる空間へとリニューアルし、新たなビジネス創出につながる対話の場づくりを目指します。

●観光 MICE 都市横浜のリブランディング

財団が思い描く横浜の観光 MICE の未来、DMO としての在り方をステークホルダーに知ってもらうための取組として、多角的な情報発信を行います。ウェブ等財団保有媒体や外部メディアでの露出に加え、街中で展開する情報発信においてもブランディングを図ります。

重点取組②【エリアの魅力の開発】

いつ、どこを訪れても、来訪者それぞれに楽しみを感じていただける観光まちづくりを目指します。多様な魅力を持つ横浜の各エリアの資源を開拓し、エリア間のつながりを深めることで、面としての街の魅力を高めます。

●ミュージックシティの実現に向けた取組

一定のエリアに多彩な音楽施設が立地する環境を活かし、コンサート等の興行イベントの機会をとらえた回遊・宿泊促進策に取り組みます。興行主や商業施設、ホテル、飲食店等との連携を強化し、イベント前後で街を楽しめる仕組みづくりに注力します。

●水際線の利活用(ウォークアブルな街の開拓)

港と港周辺に点在する施設等により形成される、横浜ならではの水際線の魅力を活用した事業に取り組みます。水際線のコンテンツだけでなく、エリアごとに開催されるイベントとの連携等により、歩いて体感する空間の楽しみ方を創出します。

●GREEN × EXPO 2027 開催に向けた地域連携

2027 年に横浜で開催される「2027 年国際園芸博覧会/GREEN×EXPO 2027」を見据え、来場者の回遊や観光消費を促進するため、賛助会員をはじめとする事業者との連携を強化し、観光エリアの魅力を高める取組を検討します。

重点取組③【戦略的プロモーション】

財団の事業実施体制を強化し、ターゲットごとの観光施策や MICE 誘致による域内循環促進策などをすすめるとともに、DMO として戦略的なプロモーションを推進します。データ分析に基づき事業者と地域課題の解決を目指し、横浜のブランド体現につながるテーマでのプロモーションやターゲットニーズに合わせた事業に注力します。

●横浜アニバーサリー事業(仮)の推進

横浜の新たな観光スタイルとして「特別な日を過ごす街・横浜」を掲げ、戦略的ターゲットに向けたプロモーションを展開します。市内事業者との連携を基盤とし、ライフステージイベントを捉えた市場や顧客のニーズに応じたコンテンツの発掘・磨き上げを行います。

●観光誘客(国内・訪日)の拡充

国内外からの誘客を図るため、商談会等を活用した旅行会社へのセールス、OTA(※)を活用したプロモーション及び商品造成、メディアや展示会等を活用した情報発信を実施します。

※OTA…Online Travel Agent/オンラインのみで販売する旅行会社。

●MICE マーケティングに基づく誘致強化

経済波及効果が高い大型 MICE における回遊性・開催効果測定調査を実施し、戦略構築に向けた基礎データを収集します。また、国際会議開催情報、国内外キーパーソン情報を更新し、専用データベースを構築することで、誘致活動を強化します。

令和6年度 基本事業

【資源開発・観光振興事業】

●スパークリングトワイライト等のイベントを活用したにぎわいの創出

週末を中心に通年で花火を打ち上げることで夜も楽しめる横浜を演出し、来訪者の滞在時間延長を促進します。さらなるにぎわいの創出を目指して市内事業者やイベント主催者等とも連携を強化し、イベント前後の市内回遊や宿泊の促進を図ります。

●海外誘客セールス、商談会、レップの活用

重点市場で開催される商談会や見本市等に出展し、現地の旅行会社等と直接セールスを行います。米国には観光レップを設置しセールスプロモーションを実施するほか、アジア向けには OTA を活用したデジタルプロモーションを行い、誘客を図ります。

●海外向けプレスツアー実施

ターゲット国に対し、横浜の魅力を訴求し誘客に繋げるために、メディアやインフルエンサー等を招請し、プレスツアーを企画、実施します。ターゲットのニーズに対応できるコンテンツや最新情報等を組み込んだツアーにより、ターゲット国現地の媒体での横浜情報の拡充を目指します。

●海外メディア等の受入

JNTO 等と連携し海外のメディアや旅行会社の視察を受け入れ、横浜の新たに開発された観光資源等を紹介することにより、現地での情報発信や商品造成に繋がります。

●国内セールス、商談会、教育旅行関連情報の発信

国内で開催される商談会や展示会等に出展し、旅行会社等に対しセールスを行うほか観光客向けの直接プロモーションを実施します。また、教育旅行の受入のためにウェブを活用した情報発信や、旅行会社と市内施設等の調整を行います。

●ツーリズム EXPO 出展

9月に東京ビッグサイトで開催される世界最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン 2024」に出展し、横浜の新たな観光スタイルの取組を紹介します。

●受入環境整備/観光案内所の運営

横浜駅と桜木町駅に設置・運営する観光案内所で、国内外からの来訪者の利便性、滞在中の満足度の向上につながる情報を提供します。

●観光資料の提供

「横浜ビクターズガイド」のデータを最新情報に更新し、滞在地での情報を必要とする、特に海外からの来訪者向けに、英語・韓国語・中国語で提供します。また、民間事業者製作の観光資料等を活用し、情報提供を充実させます。

【MICE 振興事業】

●MICE 誘致に向けた国内外セールス

国際会議等の開催件数増加と「MICE 都市横浜」の認知度向上のため、国内外で開催される商談会・トレードショーへ出展します。大学・研究機関や学会・協会への個別セールスを実施し、キーパーソンとのネットワーク構築に注力します。

●国内外キーパーソンの横浜視察や招請、前回大会での PR 支援

誘致段階の会議主催者や PCO 等の横浜視察に対応します。視察受入のほかバーチャルで横浜の最新状況を体感いただくため、デジタル技術を駆使した環境を整備します。また、JNTO 国際会議海外キーパーソン招請事業(Meet Japan)に参加し、新規案件の開拓に努めます。

●MICE 開催支援

市内事業者のビジネス機会の創出、受注増加を促進するため、横浜で開催されるコンベンションを対象に助成金制度を運営します。開催件数が増加しつつある、海外事業者主催のミーティング及びインセンティブへの支援サービスを拡充します。また、市内ボランティア団体との連携により、国際会議でのインフォメーションデスクを運営します。(年 4 回程度)

●ビジネスマッチングを促進する関連産業育成・企業連携

国内外の MICE 主催者等を対象に、ショーケースイベント・商談会を実施します。

・MICE SHOWCASE の企画運営

[令和 7 年 2 月]

5 月及び 6 月・7 月にパシフィコ横浜で開催される大型国際会議の併催展示会に、横浜ブースを設置し共同出展を行うことで、ビジネスイノベーションの創出を目指します。

・第 41 回ロボット工学とオートメーションに関する国際会議(ICRA 2024)

[5 月 13 日(月)~5 月 17 日(金)]

・IEEE 計算知能に関する国際会議 2024(IEEE WCCI 2024)

[6 月 30 日(日)~7 月 5 日(金)]

●アフターコンベンションの取組強化

コンベンション開催の市内への経済波及効果の最大化を図るため、現地参加者の増加と市内回遊促進の取組を強化します。また、会議開催地での楽しみ方を提案する情報冊子を作成するほか、参加者向け体験プログラムやツアーの充実を図ります。

●受入環境整備の推進

ニーズが高まるサステナビリティへの取組について市内事業者の対応状況を把握・分析し、主催者の開催地選択に役立つ効果的な情報発信を行います。サステナビリティ分野での最新情報を学べるセミナー等を企画実施し、市内事業者の理解を促進し、MICE の受入環境を整備します。また、海外参加者の増加に対応するため、食の多様性に配慮した情報発信を強化します。

【観光 MICE 人材育成事業】

●観光 MICE ビジネス講座の企画運営

市内事業者における MICE ビジネスの裾野拡大及び実践的なノウハウの習得を目指し「MICE ビジネス講座」を開催します。基礎編では MICE ビジネスの基礎から最新トレンドまでを学び、実践編では主催者ニーズを把握し、海外との商取引に関する知識や英語プレゼン能力など実践力を磨きます。

●産官学連携による観光 MICE 人材の育成

横浜における観光 MICE 関連産業の対応力を強化するため、産官学が連携する観光 MICE 事業の人材育成に注力します。財団事業でのインターンの受入や市内大学生などの若年人材と観光事業者とを繋ぐ機会の創出のほか、次世代に向けた研修などを企画し、地域の観光 MICE 人材の育成と基礎力の向上を図ります。

●受入環境整備のためのテーマ別人材育成の推進

高齢者や障害者等をはじめとする様々な来訪者が、不自由なく横浜での観光を楽しめるよう、受入環境整備に取り組みます。観光関連事業者向けにユニバーサルツーリズム推進セミナーを実施し、来訪者の受入に不可欠な関連知識の習得、事業者の理解を促進し、快適な横浜滞在を実現できる人材の育成を支援します。

【マーケティング・プロモーション事業】

●独自データの収集による横浜の観光市場分析

市内観光エリアに Wi-Fi センサーを設置し、来訪者の移動経路や滞在時間、属性など人流データを収集します。また、横浜への関心度や来訪意欲の時期的変化などをオンラインで調査し、横浜来訪者の志向性等を把握します。

これら収集データを基に、横浜市域に特化した来訪者の分析を行います。

●訪日観光データを活用したインバウンド市場分析

回復傾向が顕著なインバウンド市場について、訪日客向けのアンケートにより、訪問地の認知度、来訪動機や情報源、実地体験後の満足度などを調査します。狙うべきターゲットやプロモーション手法など、具体的に事業へ活用できる分析を行います。

●マーケティングの強化・分析結果の共有

当財団の市場分析や横浜市が公表する観光関連データなど、横浜の観光・MICE に関わる様々なデータを集約し、ウェブで一覧できる「横浜観光データダッシュボード」を展開します。また、ワークショップの開催を通じて、収集・分析結果を共有し、連携事業の創出を図ります。

●公式サイト「横浜観光情報」の運営による横浜の魅力発信

賛助会員をはじめとする関連事業者からの情報を基に、横浜への来訪促進につながる情報発信に注力します。季節ごとの魅力的な情報や最新のイベント情報、市内観光施設情報など、最新ニュースを掲載します。

●SNS 公式アカウントの運営

X(旧 Twitter)、Facebook 等の SNS で、横浜に関するタイムリーな情報発信を行います。また、SNS アカウント分析で得られたユーザーの反応をマーケティングデータとして活用します。

●メディアリレーションの強化

新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、ワイヤーサービス、通信社、ウェブ媒体など国内のメディアとの関係を強化し、横浜の最新情報発信のチャンネルを拡充します。横浜の観光資源を活かした新たな観光スタイルの提案といった戦略的プロモーションにおいて、メディアを通じた情報発信の頻度を上げることで露出拡大を図ります。

●横浜観光応援団の運営

横浜好きを自任する人達による「横浜観光応援団」の活動を通して、SNS 等を主体とする「人」の情報発信力を活かした新しいプロモーションを推進します。

【賛助会員事業】

●賛助会員交流機会の拡充

賛助会員を対象とした、様々な内容の会合を開催します。各会合において、観光・MICE 振興に向けたビジネスチャンスの創出を重視した情報提供や階層別の交流を促進します。

●賛助会員向け情報発信の強化

会員ニーズに対応した情報提供機会の創出のため、観光・MICE 関連情報を提供する従来の会員向けメールマガジンに加え、会員向け広報誌を新たに発行します。DMO の実績を主体とする財団の活動報告や会員事業の PR を通じ、賛助会員との連携を強化します。

●新オフィスを活用した交流/ビジネスチャンスの場づくり

リニューアルする新オフィスを事業者と財団職員とのコミュニケーションスペースにします。オフィスのお披露目会や見学会の開催など、賛助会員企業同士の交流の場を創出し、新たなビジネス創造につながるマッチングを支援します。

【賛助会員向け事業一覧(予定)】

【参考】会員数 598 事業者(令和 6 年 2 月 29 日)

会合種別	開催時期(予定)	具体的内容
令和 6 年度事業概要発表会及び賛助会員交流会	4 月 22 日	財団の令和 6 年度の事業計画、重点取組等の説明会及び交流会
観光 MICE ワークショップ	年 4 回 6 月、9 月、12 月 令和 7 年 1 月	財団が独自に収集したデータや横浜市が公表する観光・MICE に関わるデータを集約し、連携創出を目指すワークショップの開催などマーケティング結果の共有を図ります。
若手・新入職員向け横浜観光研修	7 月	賛助会員の若手・新入職員を対象とした市内施設視察、グループディスカッション、チームビルディング等
新規賛助会員向け事業説明会・交流会	年 2 回 9 月、令和 7 年 3 月	新規入会賛助会員による自社 PR、既存会員との交流会
観光 MICE フォーラム	年 2 回 10 月、 令和 7 年 2 月	財団事業と連動した観光 MICE に関するテーマでのフォーラム または賛助会員のビジネスチャンスにつながる情報提供機会
会員の集い;講演会、優良従事者表彰及び賛助会員交流会	11 月中下旬	賛助会員への謝意を表す機会として、永年に亘り観光及び MICE の振興に功績のある方の 表彰及び講演会、交流会